様式1

子育てのための施設等利用給付認定(変更)申請書

0.7

記入例 (宛先

記入の際に鉛筆又は消せるボールペンは使用しないでください。

【同意事项

- 1 適切な教育・保育サービスの提供のため、施設等利用給付認定の審査、補足給付事業に係る事務及びその他教育・保育サービスについて、申 宣公署に対し必要な文書の閲覧又は資料の提供を求めることがあること。 支給、その他教育・保育サービスに関する情報として必要と認められる場 請者や同一世帯の世帯員の課税状況等の確認に
- 頭角で同一世間の世間県の歴代が記れた。 2 申請書等に記載した内容は、施設等 2 合に、施設・事業者等に提供すること 3 子ども・子育て支援法(以下「法」 子育て支援提供者に支給される場合が
- に基づき、施設等利用費は、認定を受けた保護者に代わり、特定子ども・
- 新年度4月利用開始の場合は、認定事務が集中し審査等に日時を要するため、申請日に関わらず、法第30条の5第5項の規定に基づき、審 4 新牛度4月利用照灯の場合は、応止事份が未中し毎旦寺に中でを安するため、下明日に図れる)、広れるものになった。 査結果のお知らせを延期する場合があること。 5 申請内容が事実と相違した場合は、施設等利用給付認定を取り消されることがあること。 6 認定希望日現在で、法第7条第10項第4号への政令で定める施設(企業主導型保育事業)の利用がある場合は、本認定を受けられないこと。 7 幼稚園及び法第7条第10項第5号の規定による預かり保育を利用する児童の保護者は、保護者又は施設から特別の申し出がない限り、施設 等利用費に係る申請について、利用する施設の設置者・施設長(園長)に委任すること。

<u>以上の事項</u>	H 3分 <i>伝</i> +1ア <i>f</i>	系る認定を申請	します。	申請日	R6年11	月12日
申請者(保護者)氏名	京都 (生年月日)	きょうと はな 花子 S63 年 1		号)を記。 ックをし 代表連絡:	が取れる連絡 入し、代表連 てください。 先以外の電話	絡先にチェ
住所		— 4567 京区 ××	×₽Ţ□△	してくだ	C 0 1°	
連絡先(代表連絡先に♥)		$ \triangle\triangle\triangle$	– 0000) ☑	母・携帯()80 — 0000 —	- x x x x)
口座のある金融機関名	(本店・支店・出	長所)を記人	□座を□座	番号は右に詰	めて記入	
金融機関名	本(支)店名	店番号	口座番号伝譜めて		口座名	義
銀 銀	行		普	7	リガナ キョウト	ヘ ハナコ
信用金農業協同総		5/0 0 0	·····································	000	京都	花子
	いずれかに〇をつけ			申請者名	養の口座を記	入
- 1 milos	7年4月1日(4月入	国の担合)			 定区分	
- 1. IV	の誕生日の前日 (満3歳)		申請者	pru-/	C = 33	
1	年 月		の説明書きを読	んで		
ふりがよ きょうと	こ ゆうこ	当てはまる	る認定区分にチ	ェッ		
氏多		_ クをつけ ⁻	てください。	· 🗷	新2号 □新3	3号
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生年月日) 令和3年	5月1日	個人番号マイナンバー	0000	0000	0000
ます かりがな ままり ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・				□新1号 □ □	新2号 □新:	3 号
4月入園の場合、入	園式等の		由請児童(のマイナンバ	(一を記	
実際の利用開始日が	年	月 日	入してく		- C NO	
4月2日以降であって				1 ±r		
認定開始希望日は4 <i>。</i> してください。	月1日と			」新 1 号 □ □	新2号 □新3	3 号
			個人番号			
((生年月日) 年	月 日	マイナンバー			

(認定区分については以下を確認のうえ、記入してください)

	認定区分と対象児童	対象施設・事業	対象となる方・必要な要件
新1号	満3歳以上(満3歳の誕生日 前日から新1号認定を取得可	幼稚園 (新制度対象 外)、特別支援学校幼	幼稚園の教育標準時間のみ利用で預かり保育 を利用されない方、保育が必要な理由に該当
	能)	稚部 等	しない方(新2・新3号認定に該当しない方)
	3 歳児以上(3 歳の誕生日を	上記に加え、幼稚園又	保護者のいずれもが保育が必要な理由に該当
新2号	迎えた後の4月以降が対象)	は認定こども園の預	していること。別途、以下の書類が必要。
		かり保育、認可外保育	○保育が必要な理由書
新3号	0~2歳児	施設、一時預かり、病	○保育が必要な理由に応じた添付書類
MIOA	(市民税非課税世帯に限る)	児保育 等 ※	(就労証明書、在学証明書、母子手帳の写し等)

※無償化対象となる認可外保育施設や一時預かり等の無償化対象施設・事業の一覧は、案内文に掲載の京 都市のホームページに掲載しています。利用予定の施設が無償化対象施設かは事前に確認してください。

児童		設について							
/ L	名		設 名		利用サービ	ス	利用開始	台月(予定	含む
京都 優子	-	○幼稚園 トの場合の所在地:		(幼稚園) その他		一時預かり	令和	7 年	4 J
	(1112)	170796日 07/7/111216.		/ C ♥ / II	国 郑可从伊本坛凯	- 1年3月ペット		F	
	(市外	トの場合の所在地:			施設・サービスの担合は利用。			年	F.
	(市外	トの場合の所在地:			の場合は利用せ してください。	T-CAM	谷で	年	J.
	(1112)	1 42 90 11 42/1/11226 .		/			<u> </u>		
4 世帯員	<u>(申請児童</u>	<u>を除く</u> /家詞	計を同じ	くする別居の家	族を含む)				
なも記入し さい。	ふりがた	な	申請者と	生年月日	職業又は	個人番号	ま (マイ	ナンバー	.)
員	氏名 きょうと は	 ‡なこ	の続柄 申請者	·	学校名等				
保		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	本人	S63年11月21日	会社員	0000	0 × ×	0 0 0	0
護	きょうと た				4.11.0				
者	京都大	(郎	大	S63年 8月 7日	会社員	0000	000	× o o	o
<i>*</i>	きょうと し	 <i>ブ</i> う	FA	U27 /:: 7 = 1 =	~~\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				
よ う	京都次	郎	長男	H27年3月4日	○○小学校	0000	o × 0	000	o
だ	申	請児童を除り	く世帯員	について、両親	、兄弟姉妹、同	居している	親族等生	全員を記.	入し
•	て	ください。							
祖				3P /₃ F					
母									
等				年 月 日	1				
5 世帯状況				続柄で記入して		=紙・ この	Uh ())
ひとり親世帯	Ť	☑ 非該		該当 (死別 ひとり親	、	場合や別層	者がい		は、診
ひとり親世帯 別居者の有無	Ť	☑ 非該	当 口 有(該当 (死) ひとり親 有にチェ	・ 離婚 ・ 世帯に該当する ックをつけ、る	場合や別居 の理由を選	書者がい 選択して	る場合は ください	t、記 ` 。
ひとり親世帯 別居者の有無 別居理由	きと対象者	□ 無 [当 口 有(該当 (死) ひとり親 有にチェ □ 出産 □ 別居	・ 離婚 ・ 世帯に該当する ックをつけ、る	る場合や別居 その理由を選	書者がい 選択して	る場合は ください	t、記 ` 。
ひとり親世帯 別居者の有無 別居理由 別居の場合の	を を対象者 の 住所	☑ 非該□ 無 [☑ 就労 [当 口 有(該当 (死法 ひとり親 有にチェ □ 出産 別居	川・ 離婚 ・ 末 世帯に該当する ックをつけ、そ 第・季難	場合や別居の理由を選続な業中で活者の居住地	居者がい 選択して 1を記入	る場合は ください してくだ	は、 い。 う ささし
かとり親世帯 別居者の有無 別居理由 別居の場合の 生活保護受給	を を対象者 の 住所 の有無	☑ 非該□ 無 □☑ 就労 □□ ○□県●□☑ 無	当 ☐ 有(☐ 就学 ☐ 有 ☐ 有	該当 (死版	川・ 離婚 ・ 才 世帯に該当する ックをつけ、そ *・手継	場合や別原 の理由を選 紙放業中 居者の居住地 用 保護受給の	者がい 選択して を記入 有無に	る場合は ください してくだ チェック	は、診 い。 うを
かとり親世帯 川居者の有無 川居理由 川居の場合の 生活保護受給 章害がある人	を を対象者 の 住所 の有無	☑ 非該□ 無	当 □ 有(□ 就学 □ 有 □ 有 □ 有 □ 有	該当 (死法 ひとり親 有にチェ □ 出産 別居	川・離婚・ 提世帯に該当する ックをつけ、そ の場合は、別居 年 生活 くださいれ、	場合や別原 の理由を選 紙放業中 居者の居住地 用 保護受給の	者がい 提択して を記入 有無に る場合に	る場合は ください してくだ チェック	は、認い。
かとり親世帯 川居者の有無 川居理由 川居の場合の 生活保護受給 章害がある人	を を対象者 の 住所 の有無	☑ 非該□ 無 □☑ 就労 □□ ○□県●□☑ 無	当 □	該当 (死版	川・離婚・ は世帯に該当する ックをつけ、る は、手輩 「、離 の場合は、別居 年 生活 ください 記入	場合や別居 の理由を選 者の居住地 日 日 保護受給の 受給してださ	者がい 選択して を記入 有無に る場合に	る場合は ください てくだ サエ 開始 は、	は、 記 さ で 手 月
かとり親世帯 川居者の有無 川居理由 川居の場合の 生活保護受給 章害がある人 氏名 章害等級等**	を を か 住所 か る の 有無 、 の 有無	 ✓ 非該 □ 無 □ 無 □ 無 京都次 	□ 有(□ 就学□ 有	該当 (死版	川・離婚・ 世帯に該当する ックをつけ、そ の場合は、別居 年 ください 記入	場合や別居の理由を選出る 「大き」の居住地 「は一き」の居住地 「は一き」の 保護の居住地 「はいっ」 にはいっ。 にはい。 には、 にはい。 にはい。 にはい。 には、 には、 には、 には、	者がいて を記入 有場へ るい。 場合、本	る場合は ください てくだ サエ 開始 は、	は、 記 さ で 手 月
かとり親世帯 川居者の有無 川居理由 川居の場合の 上活保護受給 章害がある人 氏名 章害等級等**	を対象者 を対象者 の有無 の有無	✓ 非該□ 無○○県●☑ 無□ 無京都 次は療育手帳	当 □	該当 (外版	開始・ 開始・ 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	場合や別見 の理由を選出 は は は は は は は は は は は は は は は は は に は に は に し く に し に さ い に さ い に う に う に う に う に う に う に う に う に う に	者がいてを記る。	る場合は、	は、 記 さ で 手 月
かとり親世帯 別居者の有無 別居理由 別居の場合の 性活保護受給 章害がある人 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	を対象者 の有無 の有無 内容が確認で	図 非該 □ 無 □ 無 □ 無 □ 無 □ 無 京都 次	当	該当 (外別	世帯に該当する ックをつけ、そ の場合は、別居 年生活、 ください る申請児童・世 書の内容を記入	は場合や別見の理由を選出を選出を選出を選出を選出を開発した。 「は、一般のでは、一般	者がいて を を 有場。 は は た た た た た た た た た た た た た	る場合は くだ してくだ チェック は、 開始な	は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
かとり親世帯 川居者の有無 川居理由 川居の場合の 上活保護受給 章害がある人 で で で で で で で に て で で で で で で で で で で で	を を を か を か を が 確認 で に に に に に に に に に に に に に	図 非該 □ 無 □ 無 □ 無 □ 無 □ 無 京都 次	当 □ 有 (□ 就学 □ 有 (□ 有 (□ 財	該当 (外版	開始・ 開始・ 神に該当する ックをつけ、る の場合は、別居 年生活、 ください る申請児童・世 書の内容を記入 を希望される方 塚な理由書及び保育	は場合や別見の理由を選出を選出を選出を選出を選出を開発した。 「は、一般のでは、一般	者がいてを記るという。	る場合は くだ してくだ チェック は、 開始な	は、いっさいです。一つです。
かとり親世帯 別居者の有無 別居理由 別居の場合の 上活保護受給 章害がある人 で で で で に て て て て て て て て て の は て て て て て て の は て て の は て て の は て の は て の は の は	を を を か を か を が 確認 で に に に に に に に に に に に に に	図 非該	当 □ 有 (□ 就学 □ 有 (□ 有 (□ 財	該当 (外的	門・離婚・オ 世帯に該当する ックをつけ、る の場合は、別居 年は、別居 年本は、記入 る申請児童・世 書の内容を記入 を希望される方 な理由書及び保育 介護・利田	場合や別居の理由を選出する 「は、大きな」とは、「ないださいださい。」 「は、大きな」というがいださい。 「ないだった」であるさい。 「ないでは、「ないだった」である。 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」では、「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」である。 「ないでは、」では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	者がいては、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方では、一方で	る場合は くだ してくだ チェック は、 開始な	は、いっさいです。一つです。
かとり親世帯 別居者の有無 別居理由 別居の場で 記話保護る人 章害がある人 章害京都市で (本) (本) (本)	たと対象者 ()住所 ()の有無 ()の有無 ()な、「2 () では、「2 () では、「2 () では、 (図 非該	当 有 (該当 (外別	開始・ 神に該当する。 かりをつけ、る。 かりをつけ、の場合は、別居 年生れ、別居 をおり、一般に をおり、一般に をおり、一般に をおり、一般に をおり、一般に をおり、一般に をおり、一般に では、 のり、一般に では、 のり、一般に では、 のり、一般に では、 のり、一般に では、 のり、一般に では、 のり、一般に のり、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり、 のり、	は場合では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	者がいて を 有場。 会。 くの で は に は で は に に に に に に に に に に に に に	る場合は、くだって、イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まい。 うち シーク で で)
ひとり親世帯別居者の有無別居理場の 計居理場の 計居の 計画を 計画を 注音を でする でする でする でする は でする は でする は でする は でする は でする は でする は でする は でする は でする は でする は でする は に に の は に の は の は の は の は の は の は の は	を を対象者 か住所 の有無 か容が確認で な、「2 な要な は、「2 な要な は、「2 な要な は、「2 な要な 成 求職 には、 対策	 図 非該 □ 無 □ 就労 □ □ 無 □ 無 □ 京都 次ま 療育手帳 ごさい場合、 申請児童」様 (それぞれ主な) (大定含む) (内定含む) (内定含む) 	当 有 (該当 (外別	開始・ 神に該当する。 地帯に対して、 の場合は、、 の場合は、、 の場合は、、 年は、 では、 では、、 を発達した。 を発達した。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	場合理 場合理 場合理 場合の 場合の 場合の 場合の 場合の 場合の は一点で は一点で は一点で は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	者がいて を 有場。 会。 くの で は に は で は に に に に に に に に に に に に に	る場合は、人だって、イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ま、 う年 ツ で)
かとり親世帯別居者の有無別居理場の 別居理場の 連番の 連番の 連番の 連番の 連番の 連番の 連番の 連番	たと対象者 ()住所 ()の有無 ()の有無 ()な、「2 () では、「2 () では、「2 () では、 (図 非該 □ 無 □ 就労 □ □ 無 □ 無 □ 京都 次ま 療育手帳 ごさい場合、 申請児童」様 (それぞれ主な) (大定含む) (内定含む) (内定含む) 	当 有 (該当 (外別	開始・ 神に該当する。 地帯に対して、 の場合は、、 の場合は、、 の場合は、、 年は、 では、 では、、 を発達した。 を発達した。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は場合では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	者がいて を 有場。 会。 くの で は に は で は に に に に に に に に に に に に に	る場合は、くだって、イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ま、 う年 ツ で)
かとり親田 別居理場の 計居理場の 計居 等 記書 等 記書 第 記書 第 記書 第 記書 第 記書 第 記書 第 記書 第 記書 第	を を対象者 か住所 の有無 か容が確認で な、「2 な要な は、「2 な要な は、「2 な要な は、「2 な要な 成 求職 には、 対策	 図 非該 □ 無 □ 就労 □ □ 無 □ 無 □ 京都 次ま 療育手帳 ごさい場合、 申請児童」様 (それぞれ主な) (大定含む) (内定含む) (内定含む) 	当 有 (該当 (外別	開始・ 神に該当する。 地帯に対して、 の場合は、、 の場合は、、 の場合は、、 年は、 では、 では、、 を発達した。 を発達した。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	場合理 場合理 場合理 場合 は は は は は は は は は に は は に は は に は に は に に に に に に に に に に に に に	者 ま ま ま で は に に に に に に に に に に に に に	る場合は くれて くれて で で で で で で で で で で で で で が が が が が が	まい。 さ を月 ク で)
ひとり親世帯 別居者の有無 別居理由 別居の場合の 生活保護受給 章害がある人 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	は な な な な な な な な な な な な な	図 非該	当 有 (該当 (外別	開始 ・ 離婚 ・ では ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 記	場合理 場合理 場合理 場合の 場合の 場合の 場合の 場合の 場合の は一点で は一点で は一点で は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	者 ま ま ま ま を 有 場 い で は に に は に に に に に に に に に に に に に	る場合は、くだって、イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ま、

入園年月を記入